

つわの風

題字：微風会 北見 京子

編集・発行／都和地区市民委員会文化広報部 事務局／土浦市立都和公民館 ☎ 029(832)1667



目

- 都和地区市民委員会の活動 P2
- 都和公民館まつり・ふれあいコンサート P3
- まちの話題 P4～P5

次

- チャレンジクラブの活動報告 P6～P7
- 同好会紹介・社協都和支部・編集後記 P8

都和地区に飛来する野鳥



ヒヨドリ（板谷町）

都和地区市民委員会の活動報告

福祉部

部長 田中 治江

公民館まつりで福祉の店を開けたのは3年ぶりです。来場者が分散する時間も少なく大忙しでした。それは店が4、5軒、時間は午前中だったためでした。試行錯誤のお店対応でしたが、部員全員でやりとげた感じが心地よかったです。2月末までに雑巾を、一針に思いをこめて手縫いし、100枚を児童施設に贈呈し、行事は完了です。

部として行動できる場、相手の存在等に感謝いたします。

安全部

部長 櫻井 裕之

2年間、活動休止でしたが、今年度は定例会議を開き、地域の問題を話し合いました。公民館まつりでの駐車場誘導などを行い、部員の方々と地域のみなさまの協力をいただきました。また、部としての活動は、今年2月の歩く会への協力と救命講習会を主催しました。

来年度は、ほかの専門部との協力や他地域との交流等を実現したいと考えております。

スポーツ健康部

部長 竹内 靖揮

今年度は、新型コロナウイルス感染症を考慮し、前期のソフトボール大会やラジオ体操中央大会、市民体育祭は中止となりました。後期は、都和公民館まつりが開催されました。スポーツ・健康部は体力健康チェックを担当し、参加者のロコモティブシンドロームチェックや反復横跳びなどのスポーツテストを実施しました。

今年2月には、歩く会が開催されました。皆様のご支援とご協力ありがとうございました。

環境部

部長 木野内 完治

今年度の活動状況は、例年環境部が整備している花壇の管理作業が主で、部員の協力を得ながら花壇の整備管理・花苗植え・草取り等の作業

に延べ6回集まり管理をしました。特に12月の招集時には冬の花苗植えを行い、併せて公民館周辺のゴミ拾いを行いました。

公民館まつりには、花苗の販売及び環境関連のポスターの掲示、「家庭での食品ロス削減」関連のチラシ等で啓発活動を行いました。

今後の課題として、ゴミの「ポイ捨て」箇所が見受けられるため、削減を図るためには、市民の協力を得ながら取り組んで行きたいと思えます。皆様の参加協力をお願いいたします。

文化広報部

部長 清藤 雅宏

2年間休止していたふれあいコンサートを今年は、再開しました。新型コロナウイルスへの感染を考慮して、人数制限をしました。多くの参加希望者があり、楽しく懐かしいひと時となりました。

記事内容では、まちの話題として、都和地区にもこんなにたくさんしい少女がいるのかと感激をした「フリースケートで世界に飛び出す中学生少女」の紹介と近年大きな災害への対策や準備が叫ばれていることに対応した地区の防災訓練の状況、同好会紹介等です。

何か話題のある方は事務局まで

声をお寄せください。面白く読んでいただける内容とするべく、部員一同頑張っております。

青少年育成部

部長 小松崎 猛彦

今年度は、5月に青少年育成部の専門部会議を開催いたしました。役員選出とチャレンジクラブの協力について話し合い、チャレンジクラブの活動に合わせ、都合の良い日時を部員が選択して決めました。チャレンジクラブの活動は育成部員も子どもたちと一緒に行動し、見守りと安全管理を行います。

結果、25人の部員で延べ44人の参加をいただきました。チャレンジクラブの保護者も13人が活動しました。

公民館まつりでは、たくさん野菜や蕎麦の販売、マスク作り及び魚つりなどのゲームをチャレンジのこども達と18人の部員の協力により、コロナ禍の中で活動したこと感謝し、今年度の報告いたします。



第35回 公民館まつり

平成4年11月19日(土)から12月4日(日)までの16日間「第35回都和公民館まつり」が開催され、会場いっぱい同好会の皆さんの作品や小学生の絵画や習字が展示されました。

「好きこそ物の上手なれ」と、こ
とわざにあるように、見事な作品
揃いで一点、一点来場者の目を釘
付けにしていました。

12月4日(日)最終日のまつり
では、市民委員会の長谷川委員長
さんと都和公民館の渡辺館長さん
の挨拶で開場となり、花苗や野菜
の即売会、福祉の店などでは、品
切れしないうちにと来場早々買い
求める人達で賑わいました。

また、子供広場では、輪投げや
折り紙の魚釣りゲームが人気高く、



若い家族連
れで盛り上
がりを見せ
ていました。
大工の棟
梁さん達
のブースで
は、プラン
ター作りや
まな板の販
売の他、八

時間も燃焼出来るという珍しい松
木の角材コンロが販売されており、
そのコンロで湯を沸かしていたの
が目に入り、興味を持たれて買っ
ていく人で即完売となってしまっ
たようです。

都和公民館まつりも、長谷川市
民委員長さんと小学生以下を対象
にしたじゃんけん大会で閉場とな
りました。



ふれあいコンサート

10月2日(日)、文化広報部主催
の「ふれあいコンサート」が3年
振りにコロナウイルス感染防止か
ら、事前に申し込みを行い、先着
順で人数を制限して開催されまし
た。

今回は、かすみがうら市(旧千
代田町)出身のケーナ(南米ペルー
の民族楽器)奏者の渡辺大輔さん
とピアニストの根木マリサさん
をお迎えしました。

当日を楽しみにしていたファン
も多く、早くから会場入りした人
達で準備していた席が開演前には、
ほぼ満席となり、待ち焦がれてい
る様子が伺えました。

「コンドルは飛んでゆく」の馴染
みの曲から第一部が始まると、ケー
ナの美しい音色が会場いっぱいに
広がり、60人の観客を魅了しました。



また、根木マリサさんの軽快な
リズムのピアノソロにも感動され
ました。

一部、二部と、おふたりの息の
合った色々なジャンルの曲も演奏
して下さり、コロナの不安を忘れ
させてくれたひと時でした。

渡辺大輔さんは、全国各地での
コンサートの他、映画やドラマの
音楽を担当したり、根木マリサさ
んもまた、ピアニストとして活動
しながら作曲家として楽曲を提供
したりしています。

それぞれに、多方面で活躍中の
傍ら昨年には、お二人のデュオア
ルバムが発売されました。今後の活
躍を応援していきたいと思っています。



世界的フリースケート・ライダーを 目指す丸山ミレナさん

今回のまちな話は、フリースケートで世界トップを目指す都和中学生の丸山美伶寧（mirrena）さんです。

フリースケートとは、写真に示すJMKスケート（デッキ板に2個のローラーを取り付けた下駄のようなもの）に単に乗り、横方向に滑るローラースポーツ。各足に、ローラーを付ける点では、ローラースケートと似ているが、横方向にすべる点の違い、速度も、30km/hと高速走行が出来る。スケートボードが、オリンピックの正式競技となり注目されているが、それ以上にフリースケートは、その単純さ、手軽さ、横乗り系の面白さ、機能の自由度、高速性で、特に注目を浴びております。スケートボードの次には、フリースケートが、オリンピックの正式競技となる可能性があるものです。

丸山さんは、始めてまだ3年の中学1年生ですが、その面白さにはまっており、プロの契約ライダーとして頑張っています。

片足走行（ワンフッター）、デッキのチェンジ（足の乗換）、フリーストリップ（デッキの回転）、ポップドロップ（空中キヤチ）と、多様な技を自由自在に、使いこなします。フリースケートには、検定制度があり、マスタークラス・ステップ2の資格を持っていて、優勝する可能性も秘めています。



このフリースケートは、2003年米国サンフランシスコが発祥地です。4人のトップフリースケーターの一人が土浦の嶋田巨樹（Kyokushi）さんです。嶋田さんはJMKフ

リースケートを設計製作し、世界に販売する傍ら、土浦でコーチをしています。ちなみにこのJMKスケートは、土浦市のふるさと納税返礼品にもなっていることです。

フリースケートの競技は、3部門に分かれており、①平地での技『スケートゲーム』②ハーフパイプ『ランプ』③ジャンプ台レール『ストリート』で競われます。

フリースケートの世界大会は、第1回目は2017年に中国（北京）で開催。

第2回目は2019年中国（武漢）で、世界7カ国から500名のスケーターが参加しました。この時は3部門とも日本人が優勝しました。その後はコロナ禍で、中断しています。

第3回目が今年、日本【土浦のうらら大屋根広場】で、5月3〜7日に開催予定です。みんなで、応援しましょう。

練習場は、土浦市小松の専用パーク「JMKパーク」と「64パーク」があり、毎日、そこで練習しているとのこと。また、毎月第2日曜日11〜16時は、都和南小学校の校舎前で、フリースケート体験会を行っているとのこと。興味のある方は、是非一度ご覧になってください。

都和地区高齢者 グラウンドゴルフ大会

令和4年10月4日（火）、都和地区高齢者クラブ主催のグラウンドゴルフ大会が開催されました。順位は次のとおりです。

男子

- 1位 浅野 利夫さん（板谷）
- 2位 内野 哲夫さん（並木三）
- 3位 斎藤 操さん（並木四）

女子

- 1位 軽部きよ子さん（並木四）
- 2位 富樫 愛子さん（板谷）
- 3位 江尻 通子さん（板谷）

・浅野利夫さん

この秋一番の晴天に恵まれ、一日楽しくプレーさせていただきました。

久しぶりに並木地区の皆さんと交流ができて、大変有意義な大会でした。

大木会長はじめ、準備にご苦労された役員の皆様、ありがとうございました。

・軽部きよ子さん

健康のために始めたゴルフでしたが仲間が沢山出来、趣味の一つとなりました。高齢者のスポーツとしては最適です。

これからも楽しんで頑張ります。



災害に備えて

都和南小地区防災訓練

「継続は力なり」

「世の中コロナ禍で大変なようだから、大地震を起こすのは待ってあげよう」「大雨・台風も少し加減してやろう」ということになるのならありがたいのですが、待たなして起こるのが自然災害です。都和南小学校全児童と学区8町内の自主防災会との合同で、10月30日（日）コロナ禍であっても大災害が起こる可能性は否定できないとの認識の下、3年ぶりに防災訓練を実施しました。『継続は力なり』とことわざにもあるように、きちんと続けることが大切です。継続して反復して学び、体で覚えることが一番だと思っています。

都和南小地区の防災訓練は、平成25年度から始まりました。訓練は、8町内を6つのグループに分け6種目の訓練を行います。このうち1つのグループが体験するのは3種目となります。体験しない種目は翌年度とします。



2年間で6種目を体験します。

訓練の内容は、動けなくなった人を手助けする「搬送訓練」、骨折やケガをした人を手当てする「応急救護訓練」、火事などを想定した「スモークハウス体験・電話通報訓練」、初期消化の「バケツリレー訓練」また、校庭東側にある防災倉庫内の用具とその使い方を体験する「防災倉庫の用具の使い方」、都和南小には100トンの水道水を確保できる施設があるので、実際に水を出して確保する「水の確保訓練」の6種目を行いました。



訓練の最後には、各町内の代表者による「水消火器訓練」と「ガスコンロの消火訓練」も行われ、子ども達もたくさんの訓練を体験しました。

今年は、社会福祉協議会都和支部も参加していただき、車椅子対応車両の説明と展示を行いました。一般に、「防災」とは言いますが、

自然災害そのものの発生や被災をゼロにすることは困難です。私たちにできるのは、災害による被災を最小限に抑えるための取り組み、いわゆる「減災」です。災害対応に際しては、「自助」・「互助」・「公助」の3つがよく言われますが、「公助」はすぐには届きません。すぐに届くのはお隣、ご近所や町内の自主防災会による「互助」です。「自助」「互助」で「減災」につなげていきましょう。「自助」には日頃の備えが大切です。「互助」には地域とのつながりが大事です。そして、災害時のいざというときのために、防災訓練も欠かせません。繰り返しになりますが、『継続は力なり』です。毎年の防災訓練に積極的に参加しましょう。



令和4年度の防災訓練には、土浦市役所、土浦消防署を始め、第13分団、並木町婦人防火クラブ、土浦市社協都和支部のほか、都和南小学校の先生方、各子ども会育成会、訓練補助員の皆様など多くの方々のご支援・ご協力をいただいて実施することができました。ありがとうございました。

板谷町自主防災訓練

板谷町では、「互助」を大きな目的として自主防災会を組織しています。毎年11月3日に防災訓練を実施してきました。コロナ禍のため2年間で中止しましたが、今年度は、町内自主防災会等が避難所運営を主体的に行うことが重要とされていることから、避難者や支援物資の受け入れなどをテーマに机上訓練を行いました。



訓練の説明

机上訓練



チャレンジマンの活動報告

チャレンジクラブとは、各公民館を中心に、さまざまな体験活動を通して、子どもたちの健全育成を図ることを目的とした事業です。

第4回から第9回の閉講式までをご紹介します。

○7月31日(日)

第4回力ヌーに挑戦

都和小 四年 西田 悠華

最初は、上手にこげるが不安だったけどやっていたら上手くこげるようになった。

都和小 五年 日野 輝大

力ヌーに挑戦したのは2度目です。漕ぐのが楽しかった。

また、力ヌーをやりたいです。

都和小 六年 関 杏風

力ヌーでは、上手に漕げた。ペアになった人と楽しくできた。相手にあいさつしたらきちんとかえしてくれた。帰ったら腕がパンパンになり疲れたけどいい体験になった。また力ヌーをしたいです。

○9月24日(土)

第5回上高津貝塚と

つくばエキスポセンター

都和小 四年 三辺 明音

今日は、貝塚とエキスポセンター

に行きました。友だちと仲良くたくさん遊びました。

都和小 五年 小笠原 彼方

古い土器の特徴や貝塚の意味を知ることができた。久しぶりにエキスポセンターに行ったのでとても楽しかった。新しいゲームがあった。

都和小 五年 横山 孝太郎

貝塚や博物館はいろいろなことが学べました。エキスポセンターでは、実験が楽しかったです。あいさつできました。

都和小 五年 青山 杏奈

縄文時代の貝断面展示でのいつの時代ではなにを食べていたのかがよくわかり貝の多さと動物などの骨があることに驚きました。

都和小 六年 貝瀬 諒光

上高津貝塚とエキスポセンターに行きました。貝塚では昔の人のくらしや工夫がわかりました。エキスポセンターでは発電の仕組みやロケットの構造がわかりました。



10月29日(土)

第6回小町山とみかん山に行こう

小町の里から小町山山頂へ登り、お弁当を食べた後、石岡市八郷地区にあるみかん農園でミカン狩りを体験しました。



○11月19日(土)

第7回絵手紙をかこう

都和小 五年 染谷 朋樹

はじめて絵手紙をかいいたが、むずかしかったけどだんだん講師の先生の話聞いているうちに慣れてきた。最後にかいたみかんの絵は上手にかけました。

都和小 六年 朝日 空

絵手紙に参加して楽しかったことが二つあります。

一つ目は絵手紙を三枚書いたことです。一枚はゆず、二枚目はパンジー、三枚目はつぎの絵を描きました。

二つ目は書いた絵手紙を先生にほめられたことです。

都和小 六年 吉田 礼

絵手紙ははじめてなので心配しました。苦戦したのは色ぬりでした。墨と色が混ざってしまい汚くなってしまう。先生が「才能あり」といつてくれたのでうれしかった。

都和小 五年 枝川 啓介

絵手紙は、みかんやゆずで三枚描きました。先生が「こうするといいいよ」と教えてくれて、上手になりました。

都和小 六年 三辺 実咲

はじめてで、緊張した。最後にはとても楽しくできた。作っていると中にたくさん「上手だね」とほめられたのでとてもやる気がでてがんばりました。

都和小 五年 北原 大輝

最初は難しいと思ったけど意外と簡単で楽しかったです。良い経験ができました。





都和南小 六年 塚崎 安未

絵手紙は筆の使い方が学校の授業と持ち方や使い方が違うので慣れるまで少し難しかったです。完成した絵を先生に見せたら「上手だね。」と言われたのでとてもうれしかったです。

都和南小 五年 澤井 若葉

自分ではとてもいい絵が描けたと思いました。お年寄りに、絵手紙でつたえるのは、心がこもっているのが感じがよかったです。

○12月4日(土)
第8回 公民館まつりに参加

○1月14日(土)
閉講式・おもしろ理科教室

ナダレン
ジャーによる、
防災教室の
後、閉講式を行いました。



やすらぎサロンつわ

土浦市生きがい対応型デイサービス施設「やすらぎサロンつわ」は介護予防対策の一環として平成17年9月に開館しました。利用は、市内に居住する60歳以上の方で利用料は1日100円、日曜・祝祭日を除き、午前9時から午後5時までです。

活動内容は、頭の体操として「健康マーじゃん」「囲碁」「パソコン教室」「絵手紙」、身体の体操として「太极拳教室」「スクエアステップ」「卓球」「いきいきヘルス体操」「ボッチャ」「グラウンドゴルフ」「簡単ストレッチ」楽しい講座は「歌声喫茶」「ウクレレ」「詩吟教室」「パッチワーク」「マクラメ編み」「キルトすみれ」「大正琴」等を行っています。

その他年2回、日帰り旅行やイベント等を実施しています。(現在は中止しています。)

高齢者の通



婦人防火クラブ表彰

令和5年1月7日(土) クラフトシビックホール土浦(市民会館)において、土浦市消防出初式の観閲式典が行われ、「並木町婦人防火クラブ」が消防協力団体として表彰されました。



当クラブは、長年にわたり地域の年間行事への参加や、定期的な並木町児童公民館の清掃・自主防災活動等を行っています。

この場として趣味を楽しみ、友達をつくり楽しく元気に過ごせるようにして頂くための施設です。
お気軽にご利用ください。
詳細はサロンまで
☎ 824-4572
並木一ー二二〇 KBビル2階

昨年10月30日に実施された都和南小地区防災訓練では、「バケツリレー訓練」の指導的な役割を果たしました。「声がかかれば積極的に協力する」というクラブ員は、地域の方々から感謝されています。

もったいないを ありがとうに きずなボックス

賞味期限が残っている未開封の缶詰・乾麺・お米など、寄付していただいた食品をフードバンク茨城のボランティアが回収します。
回収した食品は、福祉施設や食に困っている人を支援する団体などに無償で届けています。
『きずなボックス』は公民館に設置されていますので、ご利用ください。



同好会紹介

紫 香 会

かな書道の紫香会は月2回、県美術展審査員の海老原紫香先生を講師に、楽しく和やかに活動しています。

お手本は毎回違う和歌を先生がご自身で書かれ、それを見て練習し、その場で何度でもご指導いただきます。道具は主に仮名用の小筆と墨と半紙。それ以外は書道共通です。作品は公民館まつり等に展示されます。

皆様どうぞ気軽に活動を見学され、一緒に学びましょう。



彩 友 会



彩友会が発足して今年で19年を迎えます。水彩画の研修を月2回行っており、他にも同じような同好会は数多くございますが、当会では午前・午後と昼食を挟んで和気あいあいとした雰囲気の中で活動しております。研修終了後には構図の取り方、色彩の使い方、余白の生かし方など一人ひとりに講師の先生から講評を頂きますので、上達が早まります。

絵に興味がある方がいらっしゃったら一緒に学んでみませんか。

社協都和支部

都和支部では、70歳以上の一人暮らしの方を対象に、ボランティア「よつわの会」が手作りのお弁当を月2回（第2・4水曜日）配達しています。旬の食材を使いいっしょにも配慮した栄養満点のお弁当です。「寒いのでお身体に気をつけて。」相手の方を想う心を添えて温かいうちにお届けします。「この前の美味しかったよ。」その一言がやりがいにつながっています。

今年は、チャレンジクラブの絵手紙と都和中学校8年生の手書きカードを添えたところ、皆さん大変喜ばれ、大切に飾っている方もいて、世代間交流にもなっています。



★「よつわの会」では調理ボランティア・配達ボランティアを随時募集しています。ご協力いただける方は、都和支部（☎832-1667）までご連絡ください。

編集後記

ふれあいコンサート渡辺さんと根本さんは共に土浦一高の卒業生だそうです。渡辺さんは筑波大学でケーナの演奏を始め、その後土浦市役所に勤務された後、プロの奏者になられたとのこと。その最初の演奏会が都和公民館ふれあいコンサートだったそうです。根本さんは東京芸術大学卒業後、一般企業に就職し、その後スキーマのインストラクターをする等紆余曲折を経て、プロのジャズピアニスト奏者になられたそうです。

今回は入場制限や先着順ということもあり、希望されても参加できなかった方々にはお詫び申し上げます。次回は制限はなくなるのでしよから、もっと大勢の方にプロ等の演奏を聴いていただけたと思います。めったにない機会ですので是非お出かけください。

今回取材に应じてくださった皆様ありがとうございました。また何か掲載してほしい話題がありましたら事務局までご連絡ください。

